

りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙
第221号
21. 6 .28

表紙

・環境問題の取り組みは自分と周りの人を大切に思う気持ちから始まります

P2

・一人ひとりの力を集めて大きな力にすることができるグリーンシステム

P3

・活動報告 エスコープ大阪設立50周年オンライン企画／エスチャンネル「プリンせっけん作り」
・組合員紹介 関西W.Co連合会と共につくる地域社会

P4

・50周年記念消費材の提供
・理事会報告 ーRびん回収率
・おたよりネット ー編集後記

第一次 生活クラブ
2030
行動宣言



生活クラブはSDGsの理念に通じ、かつ留まらない活動を実行していくことを約束します。

環境問題の取り組みは自分と周りの人を大切に思う気持ちから始まります

2015年に国連で「持続可能な開発目標SDGs」が合意されました。生活クラブでは、SDGsの理念に通じ、かつ留まらない活動を実行していく「2030行動宣言」を2020年に取りまとめ、8つの重要目標を設定しました。その取り組みのひとつとして、リターナブルびん(Rびん)に代表される「グリーンシステム」があります。今回はエスコープ大阪組合員で、Rびんの普及・啓発に取り組む市民団体「Rびんプロジェクト」を立ち上げた、西村優子さんにお話を伺いました。(聞き手:環境委員会委員長 山路 登葉)

※グリーンシステム…びんを回収・洗浄してリユース、プラスチック類をリサイクルする生活クラブのしくみです。Garbage Reduction for Ecology and Earth's Necessity(地球生態系のためのごみ減量)の頭文字(GREEN)から名づけられました。

日常生活の中の気づきが環境問題を考えるきっかけに

山路 生活クラブがグリーンシステムを導入した1993年と同じ頃、西村さんも「Rびんプロジェクト」を設立されましたが、その経緯について教えてください。

西村 子どもの頃から土、虫、外遊びが嫌いだっただけですが、庭に埋めた生ごみが土に還る現象を見て、「ごみ」だと思っていたものがごみではなく人も自然の一部だということに、気づきました。今まで自分が見ていたのは自然の中のほんの一部分だけだったとショックを受けたほど衝撃的な出来事でした。環境のことを考えないこのままの生活ではいけない、自分にできることは何かを考え、福祉作業所と牛乳パック回収活動を経て、人々との出会いにも恵まれRびんの普及と回収を推しすすめる「Rびんプロジェクト」を設立しました。

社会の動きを捉えて、しなやかに行動する

山路 生活クラブではCO₂排出量を2030年に40%(2013年度比)削減することを「2030行動宣言」として掲げています。今年度エスコープ大阪としても、全種類のRびん回収率85%以上を目標に、グリーンシステム

Rびんプロジェクト
副代表

西村優子さん



に取り組んでいます。Rびんを普及させるにはどのようなことが考えられますか？

西村 例えば一升びんは、冷蔵庫に入らない、使い切るのに時間がかかるなどの理由でニーズが減っています。社会のニーズや動向に目を向けながら、Rびんを使う人とRびんを利用した製品を増やす両輪の活動が必要だと感じています。最近ではコーヒーシヨップがプラスチック製のストローを廃止するなど、「脱プラ」の機運が高まっていますが、このことはRびんの普及につながると思います。プラスチックを燃やすことは、石油を燃やすこと。結果的に地球温暖化をすすめることになりま

若い世代にも伝えて一緒に取り組んでいきたい

山路 そうですね。もともとプラスチックが主流になるまでびんが主流でした。生協としてはRびんの利用と回収率が低いことが課題です。

西村 市場に出回るRびんは回収があまりすすんでいませんが、まずはRびんが優れた容器であることを伝えていくことが大切だと思います。「Rびんプロジェクト」ではこれまでに、イベントでコントや紙芝居でRびんの良さをわかりやすく伝える工夫をしてきました。食品を入れる容器としてガラスは安心できる天然素材でできているし、洗って再使用すればゴミを減らせるだけでなく、間接的だと言われてきたCO₂の削減にも明らかに貢献することなど、利点を伝え続けていく必要があります。

山路 学校でも環境に関する取り組みをされているそうですね。

西村 大学や小学校で環境問題に関する出前授業をしました。

「Rびんプロジェクト」の活動仲間を増やすことも大切で、授業で教えた生徒がその後「Rびんプロジェクト」の運営に携わってくれたりしています。環境問題の取り組みは自分とまわりの人を大切に思う気持ちから始まることを伝えながら、若い世代と一緒に取り組んでいくきっかけにしていきたいと思っています。また、数年前には教科書の調査をしました。教科書では「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」について扱われていたものの、3つのRの優先順位については残念ながら触れられていませんでした。教科書の内容に関して、地域の先生とつながりを持って、教科書選定の過程で環境の視点を意識してもらえようようになるのではないかと思います。

山路 リデュース(ごみの発生抑制)を最優先におこなうことがCO₂削減につながり、生活環境を守ることになります。利便性ばかりを追求する生活を続けていくと、自分を含めたまわりにも大きな影響があるのかを考え行動すれば、自然と環境にやさしい生活になるのではないかと思います。その実践のひとつとして私たちのRびんをもっと循環させて、自分と周りの人々たちを大切にする社会をつくりたいと思っています。



やりたいことに突き進む姿で人を惹きつける西村さんのお話でした。

一人ひとりの力を 大きな力にすることが出来る グリーンシステム

日本では、戦後の経済成長と共に水質汚染や大気汚染など、人々の健康や生活を脅かすさまざまな環境問題が起こってきました。ごみ問題もそのひとつで、1970年代からごみの埋め立て地として開発された大阪府の咲洲や夢洲の広大な面積からも、私たちが出すごみの量がいかにか多いかを想像できます。1980年代に入ると地球過熱化を抑制するために温室効果ガスに含まれるCO₂削減が国際的にも議論されるようになりました。

待ったなしの現状

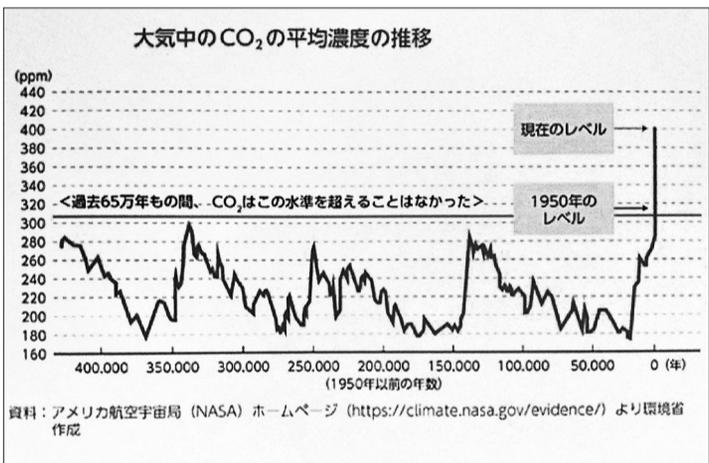
ごみの問題について

環境省によると、ごみの最終処分場の残余年数は約20年とされており、そう遠くない将来に私たちが出すごみは行き場を失うこととなります。また量の問題だけでなく、大量生産・大量消費で使い捨ての消費行動が生み出した結果として、近年では環境中に廃棄されたプラスチック製品のごみがマイクロプラスチック(一般には5mm未満のプラスチック粒子)となり、海洋汚染にまで発展するなど、新たなごみ問題も認識されるようになってきました。すでに世界の海に存在していると言われているプラスチックごみは合計で1億5千万トン(※1)。そこへ少なくとも年間800万トン(ジャンボジェット機5万機相当)が新たに流入していると推定されています(※2)。こうした大量のプラスチックごみはすでに海の生態系に甚大な影響を与えており、今後ますます悪化していくと思われれます。

※1: 出典: WWFジャパンWEBSITE
「海洋プラスチック問題」 McKinsey & Company and Ocean Conservancy (2015)
※2: 出典: WWFジャパンWEBSITE
「海洋プラスチック問題」(CSJ) Neureid, L. et al. (2016)

CO₂の問題について

地球規模で今、地球過熱化による気候危機の影響が現実のものとなつています。原因となる「温室効果ガス」にはさまざまなものがありますが、もっとも影響が大きいのがCO₂です。先進国の発展とともにCO₂の排出量は増え続け、それに伴って世界の平均気温が上昇しています。世界の平均気温は1750年頃と比較して約1°C上昇しました。たった1°Cの上昇が「食料危機」「大規模な自然災害」「海面水位の上昇」「海水温の上昇」「感染症の拡大」などを引き起こす要因となり、人々の生活を脅かしています。
今のペースで地球過熱化が進むと、早ければ2030年には1.5°Cまで上昇すると予測されています。1.5°C未満に抑えるためには早期の抜本的な対策が必要です。生活クラブでは「2030行動宣言」(表紙参照)で生活クラブからのCO₂



の排出量を2030年度に2013年度と比べて40%削減する目標を掲げています。

私たちに
グリーンシステムがある!!

ごみ削減の決め手は3RのReduce

プラスチックごみの問題を解決するために必要なことの基本は、いわゆる3Rです。
・リデュース(Reduce) = ごみの発生を減らす
・リユース(Reuse) = 繰り返し使う
・リサイクル(Recycle) = 再生利用



これを徹底することが、海に流入するプラスチックを減らすことにつながります。とりわけ、プラスチック生産量の多い日本の場合、重要となるのは生産・使用を「リデュース」減らすこと。特に、日本でもプラスチックごみの約半分を占める「使い捨てが中心の容器包装等のプラスチック」を減らすことで、もっとも効果的なリデュース推進が可能となります。エスコープ大阪では「グリーンシステム」に取り組んでいます。シユースや調味料のびんを回収・洗浄してリユースし、消費材をピッキングする時に使用する袋などのプラスチック類をリサイクルするしくみです。

グリーンシステムでCO₂削減

例えばリユースびんを自治体でリサイクル(碎いて再利用)するとCO₂排出量は340gになります。『万能つゆ』などに用いる500ml超軽量PETびんをリユース(洗って再利用)するとわずか90gのCO₂排出量に抑えられ、250gのCO₂が削減できます。自治体が回収し

たガラスびんは、碎いて約1500°Cの高温で溶かしてリサイクルするため、洗ってリユースする場合と比べCO₂排出量が必然的に多くなります。グリーンシステムでPETびんを利用・回収することがCO₂削減に効果的です。

台所からはじめよう!!

「私たちのびん」捨てなくって56%削減

右の言葉は、表紙に掲載の西村さんがある生協組合員から聞いた言葉です。2020年度、エスコープ大阪のPETびん全種類の回収率は、71%で、生活クラブ全体としても73.6%と低くなっています。CO₂削減をすすめるためには、PETびんを使った消費材の利用を高めることも必要です。2021年度は、あらためて利用と回収の強化に取り組みします。

ごみ問題や、CO₂を含む温室効果ガスによる地球過熱化問題などは、私たちが日々の営みの中で何を選択するかで、大きく関係します。環境問題は、私たち自身のこれまでの「選択」の結果であり、解決するもやはり私たちです。

私たち組合員の「PETびん消費材を利用して返す」という消費行動は、シンプルで継続的に問題解決に近づく行動のひとつです。

環境問題は一人ひとりが行動を起こさなければ解決できません。人まかせにするのではなく、誰でも簡単にできるグリーンシステムに参加して台所から環境問題を解決していきましょう。

理事会
**エスコープ大阪設立50周年
 オンライン企画
 オンラインで「人」と「時空」をツナグ**
 3月13日(土)13:30～16:35 生協本部 大会議室

常務理事 吉田 正美



緊張しながらも生産者と生中継でツナグことができました

離れていても、消費材、運動で 私たちはつながっている

2020年はエスコープ大阪が設立されて50周年という年でしたが、新型コロナウイルスが猛威を振るい、生産者と直接会うことができない、産地に行くことも、組合員が集まることもできない、これまでにない一年になってしまいました。イベントの開催が難しい中、どうすれば今まで運動を共にしてきた生産者や関係団体とつながれるかと模索し、エスコープ大阪設立50周年オンライン企画「オンラインで『人』と『時空』をツナグ」を開催しました。

初はアナウンサーになったみたいと浮かれていましたが、本番が近づくにつれドキドキ。ライブ配信中は、ずっと時計とにらみ合せて進行了ました。



いつもの会議室が報道番組スタジオに!

生産者から **カタシモワインフード株式会社 代表 高井 利洋さん**
 長い間お取引をいただいているので、中継を通じて昔なじみの生産者に会えたのがすごくよかった。懐かしさと今も頑張っておられる様子は、生協の歴史を感じることができてとてもよかった。

生産者から **株式会社ミサワ食品 代表 牧野 裕司さん**
 オンラインの良さもありましたが、個人的にはやはり対面での企画をしたいです。早くコロナが収束してほしいと日々願っています。

北は山形県から南は沖縄県、映像での生産者紹介ではフィリピン、インドネシアまで、リレー形式で27の生産者や関連団体と生中継でつながるなんて初めての経験です。出演者の方もこのような配信は初めての方が多く、何度もオンラインを使ってリハーサルをおこないました。当日は、映像配信などをおこなっている業者に運営を委託したので、たくさんのパソコンやカメラ、機材が大会議室に運び込まれ、いつも会議で使っている会議室が報道番組のスタジオのようにになりました。司会は私たち組合員が務め、最

初はアナウンサーになったみたいと浮かれていましたが、本番が近づくにつれドキドキ。ライブ配信中は、ずっと時計とにらみ合せて進行了ました。家にながら、遠方でもなかなか行けない産地や、普段は見られない生産現場なども見ることができたり、生産者に直接呼びかけたりできたのはオンラインならではの思いです。何より、久しぶりに生産者の方々の元気そうなお顔を見られたこと、熱い語りを聞いたことがうれしかったです。コロナ禍で、直接会って交流することができませんでしたが、改めて消費材、運動でしっかりとつながっていることを実感できました。今後、オンラインなどいろいろな方法を考え、つながる企画を実施していきたいと思っています。

クイズ当選者から **岸田 昌弓さん**
 あたたくい素敵な企画に参加させていただきだけでなく、クイズで1等賞をいただきましてありがとうございました。オンライン企画は、26カ所の生産者などの方々が、大事に生産されたものを私たち消費者に送り届けてくれることが伝わり、心温まり、繋がって支えてもらっていることが実感できるものでした。泉北生協時代から現在までのこの繋がりを育んでくださった皆様の思いに触れさせてもらいながら、参加させていただきました。

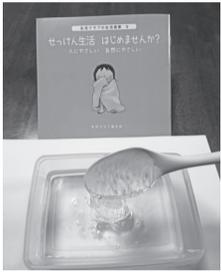
エスコープ大阪のホームページで当日の動画を公開中!
 「組合員メニュー」→「ムービーギャラリー」から視聴することができます。ぜひご覧ください。

<https://s-osaka.seikatsuclub.coop/member/movie.html>

大阪市南・中河内地域 エスチャンネル「プリンせっけん作り」

2021年3月19日(金)
 オンライン開催

大阪市南・中河内地域委員
 野村 順子



生活クラブえほん「せっけん生活ははじめませんか」と簡単手作りプリンせっけん。汚れにとろーり絡みついてよく取れる!!

エスチャンネルで新たな発見!!

境に優しいせっけんを取り入れた生活」をテーマに、「プリンせっけん作り」をオンラインで開催し、

2名が参加しました。

材料は『洗濯用無添加せっけん(針状)』とお湯のみです。せっけんとお湯1対2を目安に様子を見ながら混ぜ合わせ、プルプルとしたプリンのような形状に固まれば出来上がり。ジェ

ル状なので密着性が高く、汚れをしつかり落とし、掃除の他、万能に使えます。せっけん作りの後、各自が事前に考えてきた意見を持ち寄り、生活クラブの絵本『せっけん生活ははじめませんか』を読みながらナチュラクリーニング(合成洗剤を一切使わない掃除の方法)や環境問題について意見交換をしました。

合成洗剤の使用による環境への悪影響についても話し合い、「合成洗剤が少しずつ体内に蓄積されている」と思うと怖くなった。「せっけんの排水は、魚が食べても害がないので安心だ

とわかった」などの感想がありました。

今回、洗剤について話し合うことで、合成洗剤を使うことは、環境汚染の被害者でもあると同時に加害者でもあることに気づき、環境に優しいせっけんを使うことの大切さを学びました。今回の企画をきっかけに、ナチュラクリーニングを少しずつでも生活に取り入れていこうというメンバー間の姿勢を感じました。

今後いろいろなテーマを通じて、メンバーに生協の運動を伝えていき、一緒に活動する仲間を増やしていきます。



関西W.Co連合会と 共につくる地域社会 vol.1

W.Coを担う新たなW.Coを生み出していくため、お互いに自立した組織として

今年度は隔月で、関西W.Co連合会と地域づく

私たちは身近な問題から社会の問題までを自ら考え解決し、くらしを守るためにエスコープ大阪第6次中期計画(2018～2022年度)を策定しました。その中で、連携を強めることになり、これからはオンラインに力を入れて全国のW.Coとつながって得た情報や自分たちの活動を発信していくそうです。2021年度も多様な人たちが働ける場づくりに力を入れ、負担を分け合い助け合いながら誰でも参加できる働き方を追求していくとのことでした。

2020年度、関西W.Co連合会もコロナ禍により、運営の仕方を大きく変えることになり、これからはオンラインに力を入れて全国のW.Coとつながって得た情報や自分たちの活動を発信していくそうです。2021年度も多様な人たちが働ける場づくりに力を入れ、負担を分け合い助け合いながら誰でも参加できる働き方を追求していくとのことでした。

紹介します!!
 うちの地域の組合員さんです



生産者の声、もっと聴きたい!

岡本 由布子さん
 【大阪市南・中河内地域】

岡本さんはご主人と2人のお子さんの4人家族。一人目を出産後、お子さんの酷い乳児湿疹に悩まされました。「生活を見直そう!」と思い立ち、ネットで調べてエスコープ大阪に興味を持ちました。早速電話して加入されましたが、初めは市販よりも高い価格に戸惑い、利用も控えめだったそうです。その意識が変

わり始めたのは、地域委員会主催の生産者交流会に参加した時でした。生産者から直接、消費材へのこだわりや生産にかける手間ひまなどの話を聞き、今まで消費材の価格が高いと感じていたけれど、相応の価格だと納得できたそうです。どんな材料が使われているかわかり、安心して利用できるなら、むしろ安いくらいだと思ふようになり、利用が増え、今ではお気に入りの消費材もたくさん!今年2月から始まった地域の「エスチャンネル企画」にもメンバー登録されました。メンバーの考えや意見を聞くことがいい刺激となり、これまで以上に生活を見つめ直す意識が持てるようになったそうです。自身の考えが変わるきっかけにもなった生産者のメッセージや思いを、これからも多くの組合員に受け取ってほしいと思っています。

聞き手 大阪市南・中河内地域委員会



第11回 理事会報告 <5月7日>

【2月度決算報告】

- 供給高 2億1,046万円(前年同月比101.3%)
*配達日数は1日少ない。
- 組合員数 18,953名(前月比-314名)
- 一人当たりの出資金 86,133円

【4月の放射能検査結果】

4月は連合消費材701検体、関西消費材2検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①第32回生活クラブ連合会・第12回生活クラブ共済連通常総会代議員の選出
- ②2021年度大阪府生協連通常総会代議員の選出
- ③日本生協連第71回通常総会およびコープ共済連第13回通常総会の代議員選出について

【協議事項】

- ①エスコープ大阪第55回通常総会の開催方法
- ②議案書の最終確認と修正提案
- ③子育てひろばのレベル②での再開方法について
- ④組合員活動制限の追記
- ⑤大阪市南・中河内地域準備会2021年度計画
- ⑥サステナブルフェス!取り組みについて
- ⑦2021年度未来へつなげる♪エネルギーアクション!自治体への意見書・請願提出活動

【報告承認事項】

- ①50周年事業記念品の残数処理
- ②食品衛生法改正への対応 HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施

地域とつながり この時期だからこそその支援を

エスコープ大阪50周年を記念して、13週(4月5日～4月9日)の利用があった全組合員に「50周年記念品」をお届けしました。製造ロットの関係などで「中井製茶」の「赤ちゃん番茶ティーパック」196点、「丸本」の「はりまレトルトカレー」200点、「有王隠堂農園」の「国産野菜のフリーズドライみそ汁」183点、「株オルター・トレード・ジャパン」の「マスコバド糖かりんとう」420点が余剰となり、地域で福祉事業をおこなっている関連団体に提供しました。



「やまわけキッチン」へ。代表の湯川まゆみさん(右)。

イートイン
もできる惣菜
屋さんで地域
のコミュニティ
ティー作り
力を入れて
いる「やまわ
けキッチン」

支援を必要とする方々に
エスコープ大阪としてできる限り
コロナ禍で表面化した高齢者や子育て世帯への支援を、以前から支援事業に取り組んでいる4つの関連団体に食材を提供しました。
特定非営利法人ワーカース・コレクティブは、ほんとのデイサービス施設「よりのあい金剛」(富田林市久野臺台)へは、赤ちゃん番茶50点、フリーズドライみそ汁25点、マスコバド糖かりんとう40点を届けて施設にあるウッドデッキでゆっくりと過ごす時間のお供になればと思います。
NPO法人福祉ワーカーズほーぷ(堺市南区竹城台)へは、赤ちゃん番茶50点、フリーズドライみそ汁50点、マスコバド糖かりんとう20点を提供。デイサービス利用者の方々に食べていただきたいと思っています。

今回の食材提供について、「堺市南区子ども食堂ネットワーク サザンクロス」の近藤慎太郎さんから、「エスコープ大阪さんよりたくさんのお食材の寄付をいただきました。この状況下からこそ届けるべき方々へ。仲間とチカラを合わせて繋げさせて頂きます。温

課題解決の道具として 地域に根ざす

「堺市南区子ども食堂ネットワーク サザンクロス」へは、赤ちゃん番茶50点、フリーズドライみそ汁83点、はりまレトルトカレー150点、マスコバド糖かりんとう280点を渡し、このネットワークから8軒の子ども食堂へ配られるとのことでした。子どもたちの元気な笑顔のもとになればと思います。

「堺市南区子ども食堂ネットワーク サザンクロス」へは、赤ちゃん番茶50点、フリーズドライみそ汁25点、はりまレトルトカレー50点、マスコバド糖かりんとう80点を提供。食を通じて住民どうしのたすけあいのお手伝いができたらと思います。



NPO法人福祉ワーカーズほーぷへ。代表の中島さん(左)。

(堺市南区茶山台)へは、赤ちゃん番茶46点、フリーズドライみそ汁25点、はりまレトルトカ

かなご支援とお気持ち、誠にありがとうございます。ご自身SNSでコメントをいただきました。また「やまわけキッチン」の湯川まゆみさんからも、「5月14日に予定している『おかずBOX』の日におかずと共にやまわけします。昔は当たり前であった近所さんへのおすそ分け文化。関係性が希薄になった今は、このような場所が起点になっておすそ分け文化を大切にしていきたい」と団体のSNSでコメントをいただきました。



子ども食堂ネットワークからつながったはずはスマイル食堂にて

このようなメッセージをいただき、今回コロナ禍で支援としてお届けした消費材が、地域でのたすけあいの一助になれたと思います。今後このようなつながりを大切に、意見を交換しながら今年度方針にも掲げている地域拠点づくりをしようと考えています。今後もエスコープ大阪を身近に感じてもらい、課題解決の道具として地域に根ざしていきます。

理事長 北辻美樹

※ロット…同じ条件で製造される製品の、生産出荷の最小単位。

エスコープ大阪 Rびん回収率 <4月実績>

2021年度Rびん85%以上の回収を達成しよう!
食べるカタログ・びん本体のRマークが目印です。

	供給	回収	回収率
合計	12,862本	9,683本	75%

ドレッシングもRびんです! ただいま回収率54%。
必ず返してください!

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

218号3面「スティックセニョールお届けしました」を読んで
紙面モニター Nさん

一度テレビで見たことのあるスティックセニョールは、とても興味のある野菜のひとつです。『旬菜セット』は見たことのない、食べたことのないお野菜が登場してくれるのがとても魅力的なポイントです。このように地域委員さんが取り組んでくれるから『旬菜セット』の魅力が上がるんですね。

219号1面「次のステージへ、一緒に運動を広げていこう」を読んで
紙面モニター Tさん

私は2010年以降に加入したので、「きらり」時代のことを知りません。なので経緯がわかってよかったです。また、オンラインと直接交流のどちらも大切に、ということに同感しました。

編集後記

4面で掲載している子ども食堂へ訪問した折に、食堂の運営をされている方とお話をしました。コロナ禍により多くの方に食料を提供するため、以前より開催回数を増やしているとのこと、私が訪問した日も88食のお弁当をつくり、受け取りに来た方々に3時間で配り終え、これからまだ気になる人たちに自宅まで届けに行くということでした。「お疲れが出ませんように」と言ったところ、「ありがとうございます。でもお弁当を渡しているんなお話を、こちらがみなさんに元気をもらっているんです。」との言葉に、私も元気をもらいました。(K)

Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメロで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き
221号(2021.6.28)

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

https://s-osaka.seikatsuclub.coop/